

授業科目名	和声法ⅡC	担当形態	演習 クラス分け		
		開講学期	秋学期		
担当教員	小林 聡	単位	1	年次	1

＝授業のテーマ及び到達目標＝

和声法ⅠCに続き、ⅡCでは、それを発展させた、V7・V9（根音省略形含む）の和音までを学習し、借用和音を含まないバス課題については確実に理解できる能力を習得する。また、バスとソプラノの定型を理解し、ソプラノ課題にも対応できる応用力を習得する。

＝履修の条件と学習の方法＝

家庭での自主的な準備が必要となるため、必要に応じ、課題を与える。

2/3以上の出席がない場合、理由に関わらず、失格とする。遅刻、早退、中途退席3回で欠席1回と見なす。また、授業時間の半分の時間（45分）を超過しての遅刻、早退、途中退席は欠席扱いとする。無断退席・無断退室禁止。携帯端末使用禁止。飲食禁止。

＝授業の概要＝

毎回の授業で課題の実施を行い、実施例の確認し、必要に応じて添削を受けながら、V7・V9（根音省略形含む）の和音までを学習する。バス課題の実施が中心になるが、バスとソプラノの定型を理解し、ソプラノ課題にも対応し、3和音の第2転回その他、V7・V9（根音省略形含む）の和音の展開形を使ったバスを作成するための応用力を習得する。

＝授業計画＝

- 1回 3和音の第2転回位置までの復習
- 2回 V7の和音の配置
- 3回 V7の和音におけるバスとソプラノの定型
- 4回 V7の和音の連結（ハ長調）
- 5回 V7の和音を含むバス課題（ハ長調）
- 6回 V7の和音の連結（他の調で）
- 7回 V7の和音を含むバス課題（他の調で）
- 8回 V7の和音からVIへの連結（偽終止）
- 9回 V7の和音のまとめ
- 10回 V9の和音の配置と連結
- 11回 V9の和音の根音省略
- 12回 定型の確認とソプラノ課題
- 13回 総合バス課題（1）
- 14回 総合バス課題（2）
- 15回 和声法ⅡCのまとめ

＝テキスト（必携）＝

書籍名：和声 理論と実習Ⅰ
 著者名：島岡讓 他
 出版社：音楽之友社

＝参考書・参考資料（必携）＝

必要に応じて指示する。

=成績評価の方法と評価の基準=

定期試験、授業への参加姿勢、日頃の添削課題など、総合的に判断する。(85点以上A、70～84点B、60～69点C、59点以下D) 授業を著しく妨害した場合はC・D評価もありうる。

=その他=